

研究課題名	小児の気管支喘息急性増悪とウイルス感染の臨床的特徴に関する研究
研究機関名	武藏野赤十字病院
研究責任者	所属 小児科 氏名 天野 沙織
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認日～2026年12月
研究の意義・目的	医療技術の進歩に伴い、一度に多種の病原体を検出するmultiplex PCR検査機器が臨床現場に広がりつつある。それにより従来では原因病原体が不明であった呼吸器感染症の原因病原体の検索が可能となった。2019年度末から世界でpandemicとなつたSARS-CoV-2もそのパネルに含まれており、multiplex PCR検査の有用性は現実的に迫られた必要性とともに、広く日本中にひろまつておる、当院でも2020年11月より運用が開始された。一方、小児気管支喘息発作は、アレルギー反応のみならずウイルス感染が関与していることが知られ、特に年少児においてRSウイルスやライノウイルスといった急性気道感染症を引き起こすウイルスの感染との関連が報告されている。Multiplex PCR検査による急性呼吸器感染症の病原体検索は臨床研究としていくつか報告されているが、臨床像との検討を行つたものは少ない。 小児の喘鳴を主訴に入院した症例においてウイルス感染の有無、ウイルスの種類を確認する。また、ウイルス感染が関与した症例の年齢・性別などの臨床的特徴を検討する。感染したウイルスの種類による気管支喘息急性増悪の重症度の違いなどの臨床症状を検討することにより、小児においてウイルス感染が気管支喘息に及ぼす影響を確認する。
研究の方法 (対象期間含む)	単一施設での後方的調査研究である。解析に必要な下記に挙げる臨床情報を収集し解析する。
①試料・情報の利用目的および利用方法  ②利用し、又は提供する試料・情報の項目  ③試料・情報の取得の方法  ④利用する者の範囲  ⑤試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①通常の診療で既に取得された診療情報を収集、分析する単独・後向き観察研究。 ②評価、観察項目としては、患者基本情報(年齢、性別、診断名、既往歴、喘息の長期管理)、入院後経過、治療内容、入院期間、重症度、酸素飽和度。 ③電子カルテより情報を取得 2020年11月～2025年12月に気管支喘息急性増悪で入院した症例は約500例。 そのうち入院時にFilm array検査をしていない症例は除外。 ④研究責任者、研究分担者 ⑤武藏野赤十字病院 小児科 天野 沙織 ならびに 武藏野赤十字病院 院長 黒崎 雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合わせ  〒180-8610 東京都武藏野市境南町1-26-1 武藏野赤十字病院 所属 小児科 氏名 天野 沙織  TEL : 0422-32-3111 (代表) 22600 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525